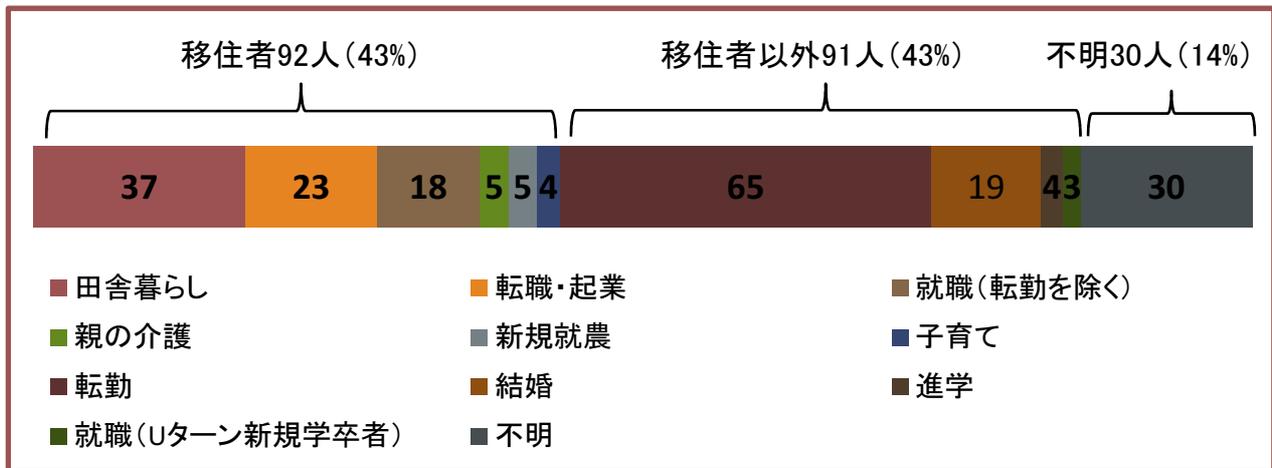


長野県への転入者 アンケート結果

調査方法: 市町村窓口でアンケート用紙配布(39市町村)
調査対象: 県外から転入者
調査時期: 平成26年9月1日～10月31日

【転入理由】



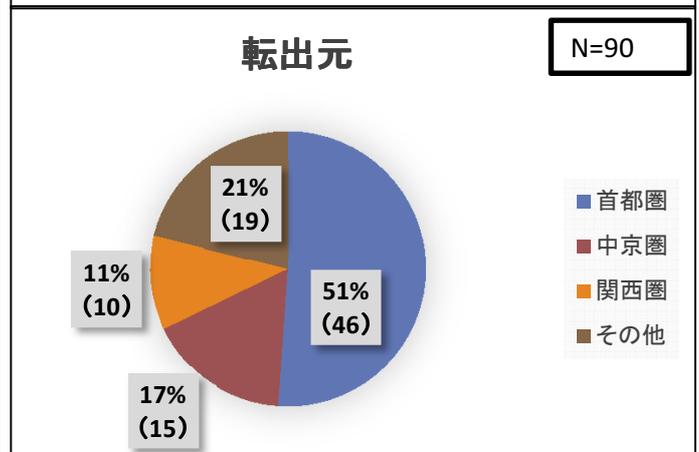
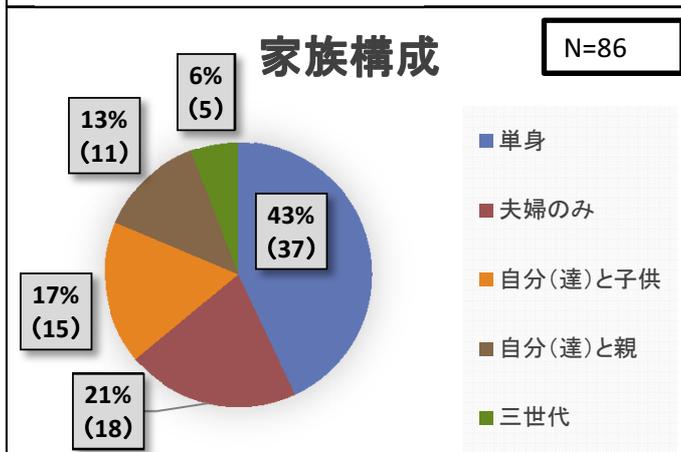
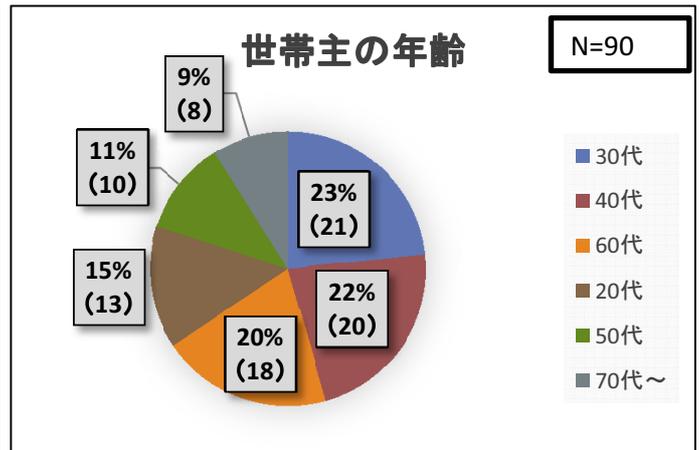
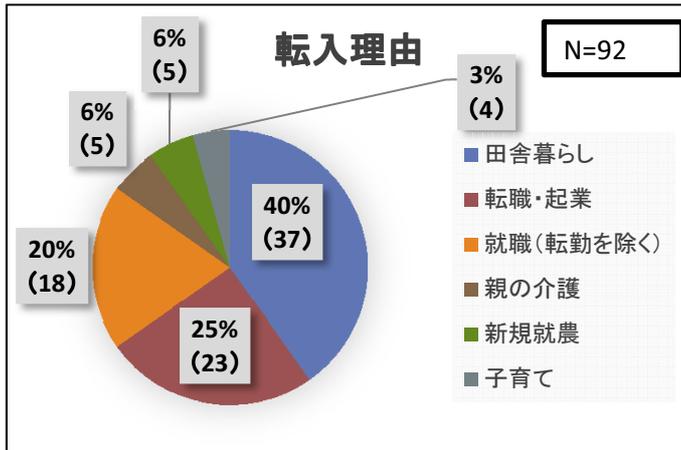
【結果概要】

- ・移住者の転入理由は「田舎暮らしをしてみたい」が最も多い。年代別では60代が最も高く、退職を契機に移住される人が多いと思われる。2番目に多いのは「転職・起業」で、30代、40代の割合が高い。
- ・長野県で暮らしていく上での不安は「雪かきや雪道運転などの冬の生活」が最も多く、全ての年代で1位となっている。

【移住者の主な意見】

- ・市の移住相談窓口の紹介で住居が決まった。今後も移住者受入のための支援を続けていくべき。
- ・別荘(茅野市)に二年間通い、当地が大いに気に入り移住した。
- ・松本市が好きなので移住した。
- ・長野県内を旅行して以降、長野が好きになり移住した。

単位:上段(%) 下段(組)



◎ 生活する上での不安

- ・雪かきや雪道の運転など、冬の生活が心配。
- ・光熱費が高い。
- ・公共交通機関の便が悪く、通勤が大変。
- ・土砂災害をはじめ自然災害が発生しないか心配。

◎ 希望する支援策

- ・若者の起業支援制度
- ・格安に住宅を借りられる支援制度
- ・子供の医療費やすべての予防接種の無料化
- ・転入者のためのネットワークづくりや就職の支援